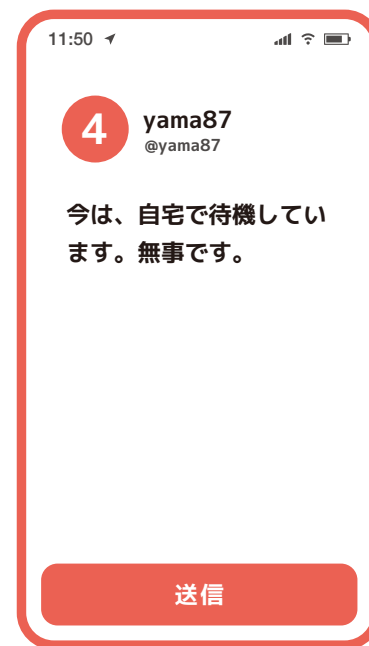
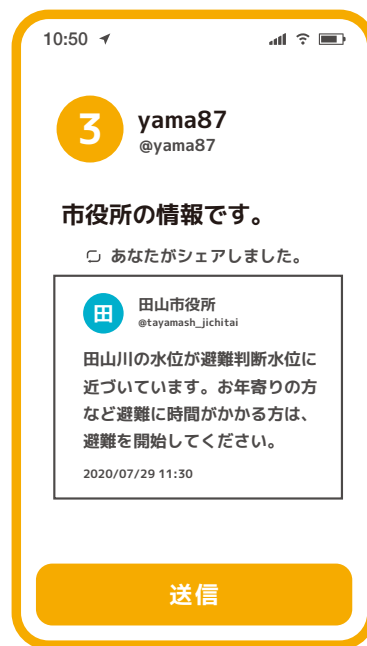
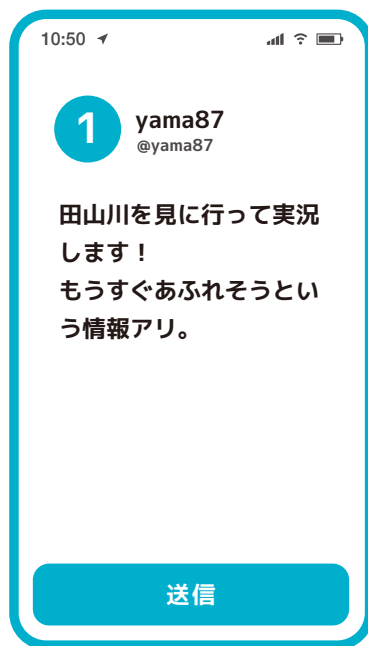


- ① あなたの住む街（田山市）に大型の台風が近づいてきています。あなたは家族と一緒に自宅の2階にいます。あなたは、自分のSNS（@yama87）で災害情報を発信することにしました。下の4枚のカードの情報について、発信してもよいかどうかを考えてみましょう。

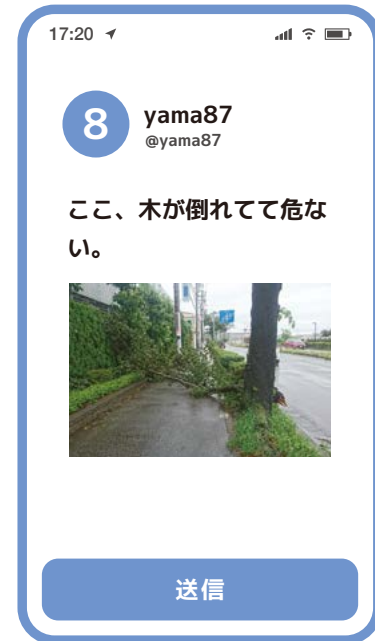
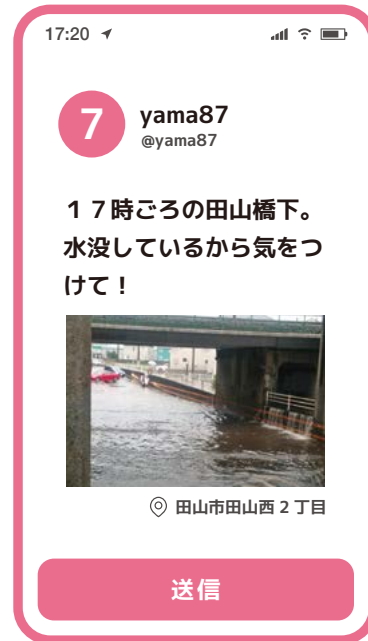
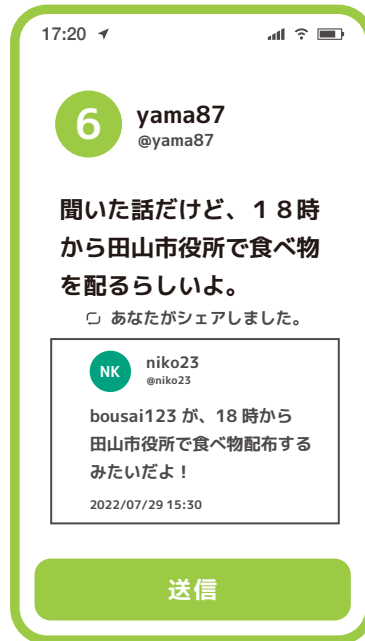


発信してもよい

発信してよいか悩む

発信しないほうがよい

2 時間が経ち、自宅の近くで被害が出始めたようです。
 下の4枚のカードの情報について、発信してもよいかどうかを考えてみましょう。



発信してもよい

発信してよいか悩む

発信しないほうがよい

! 情報をどう発信するか

情報を発信することで防災や減災に役立てることができますが、どんな情報でも発信すればよいとは限りません。

キーワードは「あまい」です。まずは、(あ)：「安全を確認しよう」です。写真や動画を撮るときには、自分や他者の安全を確認する必要があります。

次に、(ま)：「間違った情報にならないかな？」です。誰かの情報を拡散する場合には、その情報が正しいかどうかを判断する必要があります。

この判断には「だいふく（災害時のSNSの使い方①）」を参考にしてください。

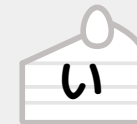
最後は、(い)：「位置情報を上手に使おう」です。どの場所でのいつの情報かがわからないと、見る人が参考にすることができません。位置情報を上手に使うとともに、自分や友達の家的位置情報などは公開しないようにしましょう。



安全を確認しよう



間違った情報にならないかな？



位置情報を上手に使おう

